

アタッキン® 水和剤

細菌性病害と糸状菌病害の同時防除に!!



たまねぎ/軟腐病



はくさい/軟腐病



キャベツ/黒腐病



こんにゃく/腐敗病



ばれいしょ/黒あし病



うめ/かいよう病



もも/せん孔細菌病



チューリップ/かいよう病

細菌性病害



ばれいしょ/黒あざ病

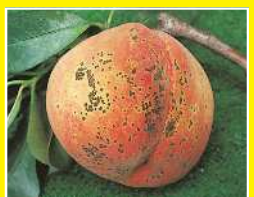


チューリップ/球根腐敗病

糸状菌病害



こんにゃく/乾腐病



もも/黒星病



うめ/黒星病



はくさい/白斑病



キャベツ/菌核病



たまねぎ/灰色腐敗病



日本曹達株式会社

アタッキン[®]水和剤

有効成分: ストレプトマイシン硫酸塩 ……18.8%
(ストレプトマイシンとして 15.0%)
チオファネートメチル ……50.0%

殺菌剤分類 25.1

人畜毒性: 普通物
(毒劇物に該当しないものを指している通称)
包装: 100g×100袋, 500g×20袋

特長

- ① 多くの病害に効果の高いトップジンMと、細菌性病害に有効なストレプトマイシンとの混合剤で、より効率的な防除が期待できます。
- ② 作物への浸透が強く、優れた殺菌力を示し、予防・治療効果ともに優れています。
- ③ 細菌性病害と糸状菌による病害の同時防除剤として適しています。

■適用病害と使用方法

*印は、収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用用量	使用時期	総使用回数*			使用方法
					本剤	ストレプトマイシン	チオファネートメチル	
ばれいしょ	黒あざ病 黒あし病	40倍	—	植付前	1回	5回 (種いもへの 処理は1回)	5回 (種いもへの 処理は1回)	5~10秒間種いも浸漬
	そうか病		種いも 100kg当り 2.5~3ℓ					種いも散布
こんにゃく	乾腐病 腐敗病	40~60倍	—	貯蔵前又は 植付前	1回	6回 (種いもへの 処理は1回)	1回	5~10秒間種いも浸漬
		1,000倍	—	植付前				1時間種いも浸漬
たまねぎ	軟腐病 灰色腐敗病	800倍	100~300ℓ /10a	収穫7日前 まで	5回	5回	7回 (種子への処理は1回、 苗根部浸漬は1回、 無人航空機散布は3回、 散布は5回)	散布
				収穫14日前 まで				
キャベツ	菌核病 黒腐病	1,500倍	200~700ℓ /10a	収穫60日前 まで	2回	2回	10回 (塗布は3回、 休眠期の散布は1回、 生育期の散布は6回)	散布
はくさい	軟腐病 白斑病	1,000倍						
もも	せん孔細菌病 黒星病	800~1,000倍	200~700ℓ /10a	収穫90日前 まで	2回	2回	10回 (塗布は3回、 休眠期の散布は1回、 生育期の散布は6回)	散布
うめ	かいよう病 黒星病			6回 (塗布は3回、散布は3回)				
チューリップ	球根腐敗病 かいよう病	球根重量の 0.2~0.5%	—	貯蔵前又は 植付前	1回	1回	5回	球根粉衣

⚠️ 効果・薬害などの注意事項

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- ボルドー液及び石灰硫黄合剤などアルカリ性の強い薬剤との混用はさけてください。
- 本剤の連続使用によって、薬剤耐性菌が出現し、効果の劣るおそれがあるので、過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤と組み合わせて輪番で使用してください。
- チューリップの球根消毒に使用する場合、発根後に処理すると薬害をおこすおそれがあるので、根が動き出す前に処理して植付けてください。
- 薬害として、黄白色の斑点が散布した葉に現れることがあります。これは植物の種類、環境により差があり、特に高温多湿時におこりやすいですが、通常一週間くらいで消失してしまうので作物に対する実用上の影響は認められません。ただし、はくさいについては高温時は幼苗時には使用しないでください。
- キャベツに対しては、薬害を生じやすいので、高温条件下での連続散布はさけてください。
- ばれいしょの種いも消毒に使用する場合は、下記の事項に注意してください。
 - (1) 萌芽後や種いも切断後の処理は薬害を生じるので、必ず萌芽前に種いもを切断せずに処理してください。特に植付後の地温の上昇が遅れた場

合には、萌芽や生育遅延が助長されるので、春先の気温の低い地域では注意してください。

- (2) 浸漬処理の場合、浸漬時間が長くなったり、高濃度液に浸漬すると薬害を生じやすいので、所定の浸漬時間及び希釈倍数を厳守してください。
- (3) 散布の場合は、種いもを床等に十分に広げ、種いも100kg当たり2.5~3ℓの割合で種いも全体が均一にぬれるよう、ていねいに散布してください。
- (4) 薬剤処理した種いもは、長時間ぬれたままにしておくと発芽遅延などの薬害を生じるので、風通しのよい場所で速やかに乾燥させてください。
- (5) 種いもを切断する場合は、処理した薬液が十分乾いてから行なってください。

- 本剤で処理した種いもは、食糧や動物飼料に用いないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- 本剤を使用した場合には、ベノミルを含む剤を使用しないでください。ただし、種子への処理、種糞への処理及び塗布処理は除きます。
- 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠️ 安全使用上の注意事項

- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
 - 使用の際は、防護マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
 - 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯してください。
 - かぶれやすい体質の人は、取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物への影響:** 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、使用残粉及び容器の洗浄水等は河川等に流さず適切に処理してください。使用残りの薬液が生じないように調製を行ない、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。浸漬後の薬液は、河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 保管:** 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所に保管してください。

● 使用前にはラベルをよくお読みください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。 ● 空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

本資料は2024年10月現在の登録内容に基づいています。



日本曹達株式会社

〒100-7010 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
お問合せ (03)4212-9655
(平日9~12時、13~17時、土日祝日を除く)



最新の登録内容、SDSはこちら